



一般社団法人

関東沖縄経営者協会

Kanto Okinawa Management Association

会報
第10号



発行日 2018年10月20日
(1、4、7、10月発行)

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-11-2 城辺橋ビル
TEL 03-3271-5567
FAX 03-3281-4320

URL <http://www.kanoki.jp/>
FACEBOOK <https://www.facebook.com/kanoki.jp>

目次

1 ページ 理事会報告

「70歳からの挑戦」豊里 盛泰副会長
「おすすめのもずくの食べ方」
近藤 ゆうな理事

2 ページ

「翁長雄志知事を悼む」
仲松 健雄名誉会長

「第4回 私の経歴書」重田 辰弥顧問
4 ページ
ゆいまゝる広場 鶴見ウチナー祭会員特典
事務局より 豊島 立子事務局長

理事会報告

第二回理事会

7月12日(木)18時〜 (株)メディア・ワン会議室

○委員会報告

一、総務委員会

①第52回 定時総会・講演会・懇親会
総括 参加人数・129名

②忘年会12月開催を進めています
二、会員増強委員会

①新規会員入会状況「ドリカム200
体制の充実」について

②カラオケ大会について

③ゴルフコンペについて

三、研修・人材開発委員会

①第8回「経営セミナー」について
四、広報委員会
7月下旬の会報発行について

○事務局

①年会費請求書発送します

沖縄県より国立自然史博物館の
シンポジウムの周知案内の依頼が
あります

●各新任理事の所属を次回決定

○その他

東京沖縄県人会連合設立総会・祝
賀会の案内

第二回理事会

8月16日(木)18時〜

横浜 おきなわ屋

○委員会報告

一、総務委員会

①忘年会について

会場：日本教育会館 喜山倶楽部
日時：12月3日(月)18時30分〜21時

二、会員増強委員会

①新規会員入会状況「ドリカム200
体制の充実」について

②カラオケ大会の日時及び会場

③ゴルフコンペ10月28日(日)
ザナショナルカントリー倶楽部
7組予約

三、研修・人材開発委員会

①第9回「経営セミナー」
日時：11月予定

受付開始18時〜開始18時30分〜20時
候補：(株)オーム電機 新里和英社長
へ依頼予定

○事務局

○定款変更届(議事録登録)
登記費用…47,000円

○各理事委員所属最終確認
総務委員…近藤委員長・下里理事
広報委員…根間委員長・山城理事

会員増強…新垣進委員長・大城副会長・豊
里副会長・仲本理事・島袋理事・下里理事
山城理事

研修人材開発…新垣卓也委員長・新垣
会長・島袋理事・山城理事
事務局…豊島理事 補佐1名
計…大城和美

○提案事項

理事以外の委員を会員から選ぶ
○事務所移転について

○その他

・鶴見ウチナー祭の案内
・2019年6月1日〜10日宮古で
のフェスティバル

第三回理事会

9月13日(木)18時〜

オールビジネスリンク

○委員会報告

一、総務委員会

①忘年会について
会費…7,000円(着席)
参加者数…130名予定

二、会員増強委員会

①新規会員入会状況「ドリカム200
体制の充実」について

三、研修・人材開発委員会

②カラオケ大会11月3日開催
①第9回「経営セミナー」決定
(株)オーム電機 新里和英社長を訪
問して正式に依頼する
日時：11月中

四、事務所移転について

①来期6月に正式移転し、定款の
住所変更をする。

②重田顧問オフィスには早々に移転
する。

③経営協のホームページ、書類、封筒
などの住所を変更する。

四、広報委員会

10月中に会報第10号を発行

経営セミナー 研修委員会主催 7月23日18時
会場 メディアワン会議室

70歳からの挑戦

関東沖繩経営者協会 副会長 豊里 盛泰氏



昭和22年(1947年)9月宮古郡伊良部村(現宮古島市)で生まれ育ち伊良部小学4年(S32年)の夏休み家族で那覇市小禄区田原(旧小禄村)に移住しました。

小禄小・中学校そして当時モデルハイスクールとして開校した琉球政府立小禄高等学校(1期生)に進学しました。

当校は文武両道との校長のメッセージで、卓球部を創部しました。練習にも熱が入り、勉強も頑張り楽しい毎日でした。

高2になり国費(文部省推薦)大学進学も大丈夫と先生に云われ、大学進学を楽しみにしていました。しかし、高2の夏(S39年)人生が一変しました。平等・平和主義の私は米兵と先生との給与の格差が6倍以上あることを知り、大きなショックを受けました。人生を悩み、大学進学を諦めました。

進学クラス在席の私は高3まで在席したら進学させられると考え、高2で中退し家出を決意しました。高2の春休み、パスポートを手に横浜で社会人生活が始まりました。横浜で旅費を貯め、当時、経済力世界一の米国で就職するのが目標でしたが、ベトナム戦争で、渡米は諦めました。

19才で建築設備の親方となり、22才で、当

時難関と云われた給水設備責任者になり、色々な企画を提案し、実行しました。

昭和47年5月15日沖繩の本土復帰が実現し、その12月(25才3ヵ月) 資本金1,200万円 で会社を設立しました。水廻りのリフォームからスタートし建築工事、設備工事、分譲住宅、分譲マンション、不動産売買、仲介、飲食業(つば八他)、スポーツジム、コンビニ、学習塾、観光ホテルなど多角化事業を展開し、グループ会社7社、グループ売上53億円、住建の資本9,800万円、法人税9,800万円納税、総資産約200億円、金融借入78億円と大きくなりました。

バブル崩壊後、平成4〜7年4年間で金融機関に32億円返済するも平成8年経営破綻しました。反省することは沢山ありますが、特に企業規模の拡大に走り過ぎたと思います。

経営破綻から22年経過し、70代を迎えた私は高い目標を立てました。宮古島市と横浜に会社2社設立します。沖縄と横浜を往来し、都会での53年の経験を活かし、ふるさと沖縄と内地の架け橋になれるよう頑張ります。



講師の豊里氏とセミナー参加者

事業内容は不動産、物流、そしてハイテクオリテイの塩も造りたい。今までの歩みを反省し、弱点を少しずつ改善して参ります。健康管理には十分留意し満101才の誕生日には現役で楽しく人生を歩む決意です。ので、今後とも宜しくお願いします。

会員ニュース

おすすめのもずくの食べ方

近藤 ゆうな理事



経営者の皆さんはマネージメントと同様にご自身の健康管理も大切です。これから寒くなる秋冬向けのおすすめもずくメニューは「もずくDE鍋」春雨や白滝の代わりに生もずくをトッピング、あったかお鍋の新提案です。

「もずくと牡蠣の土手鍋」もずくは「海の野菜」牡蠣は「海のミルク」といわれるほど、栄養価も高く、ミネラルもたっぷり。海鮮の旨味が出て出汁を吸ったもずくはサツと入るとシャキシャキ、煮込むとウルトウルになり二度楽しめますよ。メは溶き卵を落ととして雑炊に。これから風邪など多くなる季節です。鍋でほかほか美味しく体調管理をしてください。



アカウント名: Churayuna ちゅらゆーな



ちゅらゆーなHP



- <材料>(4人分)
- 生もずく.....200g
 - 牡蠣(加熱用).....400g
 - 鶏の切身.....4切れ
 - 白菜.....8枚
 - ねぎ.....1本
 - 春菊.....1束
 - ごんじん.....1/4本
 - 豆腐.....1丁
 - しめじ.....1パック
 - ★みそ.....150g
 - ★砂糖.....大さじ2
 - ★酒.....大さじ2
 - ★みりん.....大さじ2
 - ▲ほんだし.....適量
 - ▲醤油.....適量

- <つくりかた>
- 1 牡蠣は塩もみし水洗いして、水気を切っておく。
 - 2 野菜、とうふを食べやすいサイズに切る。
 - 3 ポウレンのみそを入れ、砂糖、酒、みりんの順に加えて混ぜる★
 - 4 ★を土鍋の側面に塗る。
 - 5 豆腐、野菜、牡蠣、鶏を入れる。
 - 6 ▲を注ぎ、中火で煮る。
 - 7 一度立ちしたら、生もずく、春菊を入れ弱火で5分煮る。
 - 8 まわりのみそをからめながら、いただく。

翁長雄志知事を悼む

仲松 健雄 名誉会長

8月8日翁長雄志知事の訃報に接し、大きな衝撃と深い悲しみに陥りました。

私は、2015年6月に関東沖縄経営者協会会長・東京沖縄県人会会長として翁長知事を表敬訪問しました。翁長知事は、那覇高校の一期先輩で高校時代は陸上部に所属して砲丸投げの名選手でした。私はハンドボール部に所属していましたが、那覇高校のグラウンドで青春時代を過ごしました。表敬訪問の時、翁長知事と面談した際に、開口一番「仲松さんに会うと高校時代を思い出すね!」と言っていたとき緊張がほぐれ、会話がスムーズに運んだことを思い出します。

2016年6月17日にホテルニューオータニで開催した「関東沖縄経営者協会創立50周年記念大会」に、翁長知事は公務でハードスケジュールにも関わらず出席して、二次会までお付き合いいただきました。その席で「経営者協会は630人も集める力があるのだから、沖縄の産業振興にも貢献してもらえないか」と発言され、その後沖縄県東京事務所幹部と会合を持ちました。現在、私が推進している3つの夢「K・Y・B」は、実現できると沖縄の産業振興や伝統芸能・文化の普及発展に貢献できると自負しています。

翁長知事とは、何度か沖縄での会合や個別の会食会でお会いする機会はありましたが、い

つも気さくで笑顔でした。2018年7月20日に行われた「沖縄タイムス創刊70周年記念祝賀会」で、翁長知事が来賓挨拶を済ませられ退席する時に「二日も早く元氣になって下さいね」と声をかけたのが最後になりました。

翁長知事は就任直後から基地問題で政府と対立しながら、命を懸けて信念を全うした偉大な政治家です。ある席で「国家権力と闘うのは大変な重圧ですよ!」と吐露したことを思い出します。「慰霊の日」の平和宣言で、「私たちは、この悲惨な体験から戦争の愚かさ、命の尊さという教訓を学び、平和を希求する『沖縄のこころ』を大事に今日を生きている」と述べ、平和で豊かな沖縄を築くために翁長知事は不撓不屈の精神で取り組まれました。告別式に参列して、沖縄の発展のために情熱を傾け、命を奉げた翁長知事に心から感謝の気持ちを伝え、ご冥福をお祈りしました。安らかにお休みください……。

連載 第4回 私の経歴書

重田 辰弥 顧問



会社連携・合併の経緯について

前回まで3回に分けて、創業から会社合併、退任の経緯を伝えましたが、今回は東証一部の同業C社との資本連携、合併の経緯を伝えたいと思います。

実は、創業20年目頃から、銀行やベンチャー・ファイナンス等多くのM&A関連会社から、資本提携や合併、買収等数々の提案アプローチがあ

りましたが、その具体例や経緯を紹介したいと思います。

この提案、アプローチの背景には創業20年、社長年齢60歳過ぎ、黒字経営、後継者の子息が居ない等々を調べ、これらの諸条件に適合する会社を調べたM&A斡旋の会社から数々の提案を受けました。

その結果、何故C社と連携、合併したのかは後程、お伝えしますが、今回はそれ以前にアプローチを受け、折衝した幾つかの事例をお伝えします。

最も印象に残っているM&A提案事例は当時いざれも東証一部上場のD社とE社のニイウス、トランスコスモス、TISの三社です。当時のニイウス社はIBMと野村證券という二大企業の出資を受け、IBMからは何度も優秀パートナーを受賞する破竹発展途上のD社で、沖縄にも進出する目標から当社もアプローチを受けました。当時、頻繁に新聞、雑誌に登場する等マスコミにも受けていた急成長のその会社の東京の証券街と言われる茅場町にあった本社で元IBM営業部長出身の社長と面談しました。桁違いの会社スケールもあつたのか、社長との応答に何か違和感を覚え、提携の提案には応じませんでした。ところが何と数年後に同社は循環売上違法を摘発され、倒産し、社長は逮捕されます。

循環売上と言え、創業から当社が三田にオフィスを構えていた創業10年の頃、国内有数の外資系コンピュータメーカーの営業担当から「社長、マシンを預かって貰えませんか?2、3カ月で引き取りますから、その節は手数料お支払いしますから」と依頼を受け、当社4階の一室に、最新のコンピューター・マシンが運び込まれ、

数カ月で他社に移動されました。その間、手数料？を貰い、その後、再度同じような依頼がありました。当社顧問の会計士が「重田社長、これ循環売上への加担ですよ。止めた方がいいですよ」と忠告された記憶があります。後に、ニイウス社の「循環不合法上“摘発をニュースで知り、冷や汗をかきました。

もう一件、印象深いのは我が国コル・センターNO1のトランスコスモス社からのアプローチです。同社は沖縄にコル・センターを開設し、現地から多数の女性を採用していましたが、沖縄出身の男子SEを抱える当社の買取を考えていたのかも知れませんが、実はこのトランスコスモス社がこれまでのM&Aアプローチの中で、創業者の私へ支給する「のれん代？」が最も高額な提案がありました。が、今一、その提案を受諾することはできませんでした。その二つの理由は今でこそ、コル・センターは大勢の女性雇用造設に貢献する基幹産業の一つですが、当時の我社の社員には「え！コル・センターですか！“という下見な企業評価観がありました。私にもそれに近い価値観がありました。

渋谷の高層ビルの同社本社で役員にお会いしましたが、同社の提案を受け入れなかったもう一つの理由は経営幹部の感性、価値観でした。上場会

社の社長には創業者ではなく、官庁や大企業から天下ったキャリアが多く、この時のトランスコスモスの経営役員はリクルートセンター社からの天降りOBでした。要するに「雇われ社長」で見下し評価的なエリート官僚匂い漂い、創業者特有の共鳴ムードが感じられませんでした。これは後に連携するCITJの中野社長と会った時との違いを際立って自覚しました。

その時に同社の役員が言った「私達は今これまで女性ビジネスですが、そろそろ男子ビジネスへの変換を考えています。是非一緒に！」という言葉が忘れられません。当時のコル・センターは女性中心のビジネスで、既に沖縄に進出していた同社は多数の沖縄出身SEを抱える当社に魅力を感じていたのかもしれない。

もう一件は当時の我が社の主要取引先であったTISの関連会社です。この会社の社長は私との親交も深く、当社との連携に最も熱意があり、1千万円以上の経費を払い、当社に対しデューデリジランス(Due diligence)を実施し、「支障無し」の結果を得て、私もこの会社との連携・合併には異存はなかったのですが、不成立に終わりました。何故そういう結果になったのか？その経緯と理由は次回に報告したいと思います。

ゆいまゝる広場

第3回 鶴見ウチナー祭
 10月10日(土)と11日(日)の2日間、
 18時(11日は17時)に横浜鶴見の入船公園で開催
 横浜の沖縄タウン・鶴見で行われている、沖縄の食と文化を体験、楽しめるイベントです。
 公式サイト 鶴見ウチナー祭.com
 10日(土)きいやま商店、11日(日)BEGINなどの全てのライブが観覧無料！

関東沖縄経営者協会の会員限定特典
 この会報持参で「おきなわ物産センターブース…沖縄そば一杯無料」
 「沖縄ショップぶからす家ブース…オリオンビール生一杯無料」



ゆいまゝる広場は、会員の皆様が発信したい情報を掲載する広場です。掲載ご希望の方は、根間までご連絡ください。
 (nema@dolphins.ne.jp)

事務局より 豊島 立子事務局長

当協会の事務局を左記に移転いたします。
 新住所…東京都千代田区神田多町2-9-6 田中ビル別館6F
 TEL:03-3525-8944 FAX:03-3251-6305

一般社団法人関東沖縄経営者協会会報

発行日 2018年10月20日発行 通巻第10号
 発行 一般社団法人関東沖縄経営者協会
 発行人 新垣 進
 広報委員会 委員長 根間 柁至 委員 山城 真志
 住所 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-11-2城辺橋ビル TEL:03-3271-5567 FAX:03-3281-4320
 E-mail info@kanoki.jp URL www://kanoki.jp FACEBOOK https://www.facebook.com/kanoki.jp

新規会員を募集しております。ご希望の方、ご連絡をお待ちしております！

